

平成 22 年度
港区基本計画・麻布地区版計画に関する
区民意識調査報告書

平成 23 年 2 月

港区麻布地区総合支所

協働推進課

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

目 次

・調査の目的と概要	1
1. 調査の背景と目的	1
2. 調査の概要	1
・調査回答者の状況「ご自身について」	2
1.【問1】性別	2
2.【問2】年齢	3
3.【問3】職業	4
4.【問4】居住地域	4
5.【問5】家族構成	5
6.【問6】同居者（複数回答）	6
7.【問7】同居者の年齢（複数回答）	7
8.【問8】居住形態	8
9.【問9】居住年数	9
10.【問10】住みよさ	10
11.【問11】定住意向	12
・調査回答者の意識「地区の事業について」	13
1.【問12】地域事業（認知度、期待度、関心度）	13
2.【問12】地域事業への自由意見（主なもの）	19
3.【問13】参加している地域活動（複数回答）	20
4.【問14】地域事業への参画意向	21
5.【問15】地域活動等へ参画しない理由（複数回答）	22
6.【問16】地域の課題（複数回答）	23
7.【問16】地域の課題への具体的な意見（主なもの）	25
8.【問17】情報の入手方法（複数回答）	26
9.【問18】住民参加の呼びかけ方法（複数回答）	28

数値について・・・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、構成比を足し合わせて100%にならない場合があります。また、複数回答については合計が100%を超える場合があります。

．調査の目的と概要

1. 調査の背景と目的

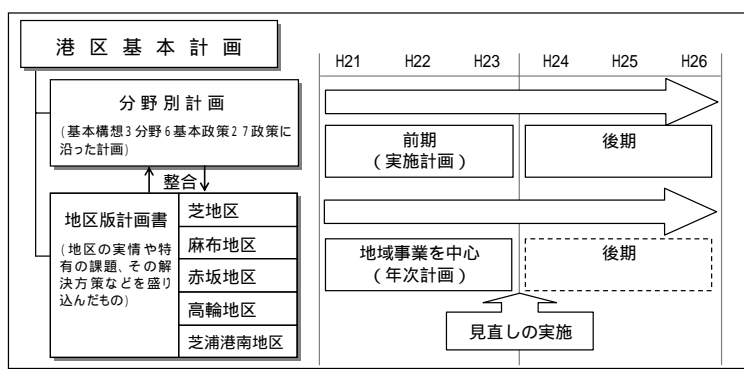
区は、区民により身近な場所で、多様な区民のニーズを把握し、責任を持って地域の実情を踏まえた施策を展開していくため、平成 18 年 4 月、「区役所・支所改革」により、芝、麻布、赤坂、高輪、芝浦港南の各総合支所を設置しました。

平成 21 年 2 月には、「区役所・支所改革」や社会経済情勢の変化を踏まえ、区の行財政運営を推進する際の指針となる最上位計画である「港区基本計画（平成 21 年度～26 年度）」を策定しました。

港区基本計画は、全区的な計画である「分野別計画」と総合支所別の「地区版計画」から構成されており、麻布地区の「麻布地区版計画」では、地区の将来像を「生活者優先の、安全で安心して快適に住み続けられる国際・文化都市」と掲げ、その実現に向け、地域の魅力をより高め、地域の課題や特性に応じて麻布地区総合支所が独自に取り組むべき「地域事業」を計上しています。

「麻布地区版計画」は、計画期間の 6 か年を前期と後期に区分し、3 年目の平成 23 年度に後期 3 年の見直しを行います。

本調査は、麻布地区にお住まいの方を対象に、地域事業や地域の課題についてのご意見やご要望をお聞きし、初めて行う「麻布地区版計画」の見直しの資料として活用するために行いました。



2. 調査の概要

調査対象 港区麻布地区内に住民登録する満 20 歳以上の人

標本数 700 標本（有効発送数 688）

標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法 郵送法

調査期間 平成 22 年 12 月 3 日（金）
～ 12 月 20 日（月）

有効回収数 244 標本

有効回収率 35.5%

調査項目

・調査回答者の状況「ご自身について」

性別、年齢、職業、居住地域、家族構成、同居者、同居者の年齢、居住形態、居住年数、住みよさ、定住意向

・調査回答者の意識「地区の事業について」

地域事業の状況（認知度、期待度、関心度、自由意見）、参加している地域活動、地域事業への参画意向、地域活動等へ参画しない理由、地域の課題（テーマ、具体的な意見）、情報の入手方法、住民参加の呼びかけ方法

宛名不明等による返戻分を除いた数

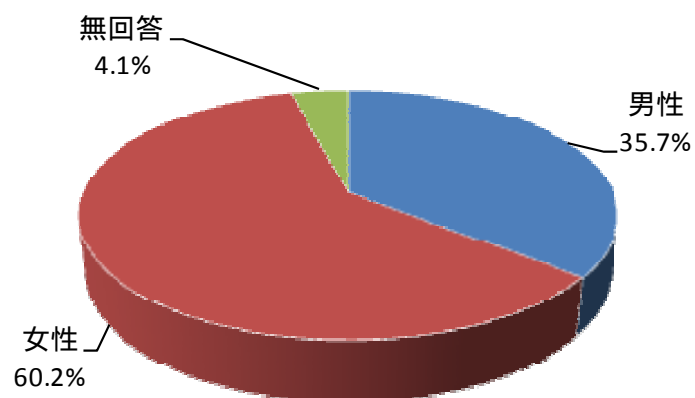
・調査回答者の状況「ご自身について」

1.【問1】性別

質問

あなたの性別をお答えください。(一つに)

設問	件数	構成比%
男性	87	(35.7)
女性	147	(60.2)
無回答	10	(4.1)
合計	244	(100.0)

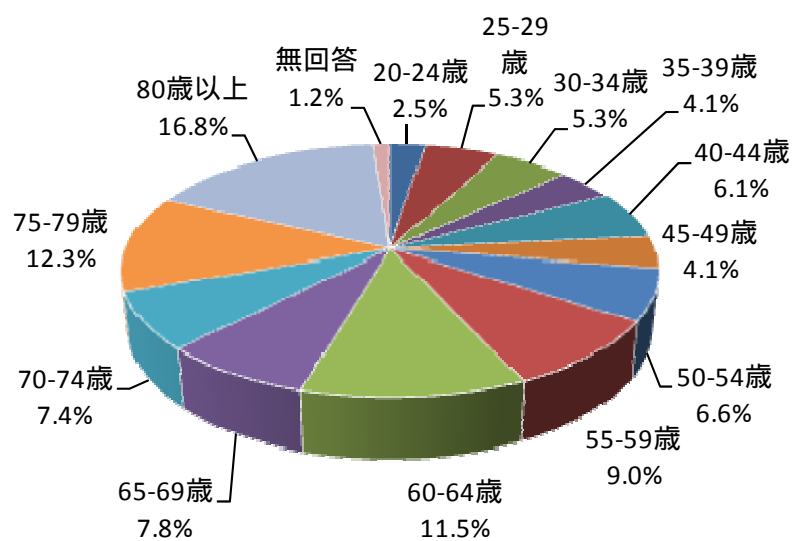


2.【問2】年齢

質問

あなたの年齢をお答えください。(一つに)

設問	件数	構成比%
20-24 歳	6	(2.5)
25-29 歳	13	(5.3)
30-34 歳	13	(5.3)
35-39 歳	10	(4.1)
40-44 歳	15	(6.1)
45-49 歳	10	(4.1)
50-54 歳	16	(6.6)
55-59 歳	22	(9.0)
60-64 歳	28	(11.5)
65-69 歳	19	(7.8)
70-74 歳	18	(7.4)
75-79 歳	30	(12.3)
80 歳以上	41	(16.8)
無回答	3	(1.2)
合計	244	(100.0)

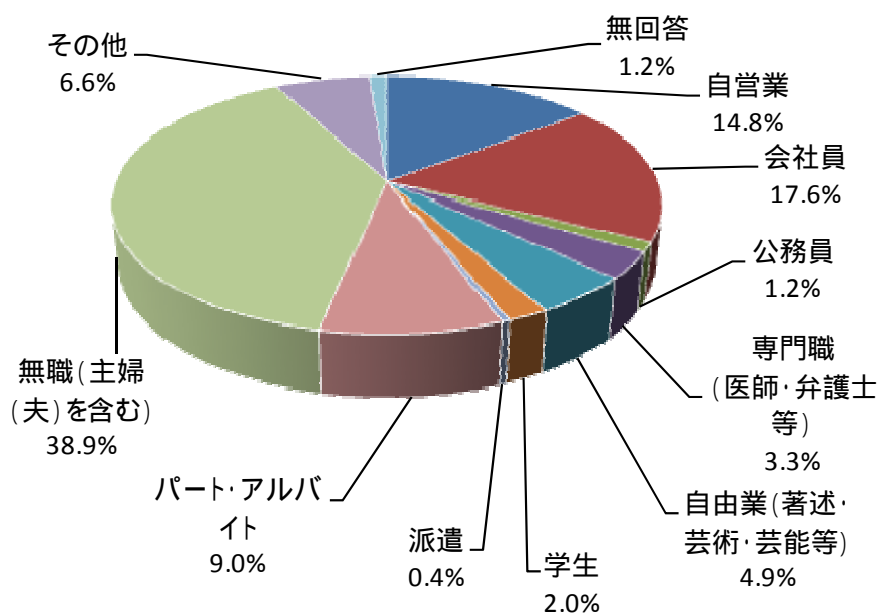


3.【問3】職業

質問

ご職業についてお答えください。(一つに)

設問	件数	構成比%
自営業	36	(14.8)
会社員	43	(17.6)
公務員	3	(1.2)
専門職(医師・弁護士等)	8	(3.3)
自由業(著述・芸術・芸能等)	12	(4.9)
学生	5	(2.0)
派遣	1	(0.4)
パート・アルバイト	22	(9.0)
無職(主婦(夫)を含む)	95	(38.9)
その他	16	(6.6)
無回答	3	(1.2)
合計	244	(100.0)

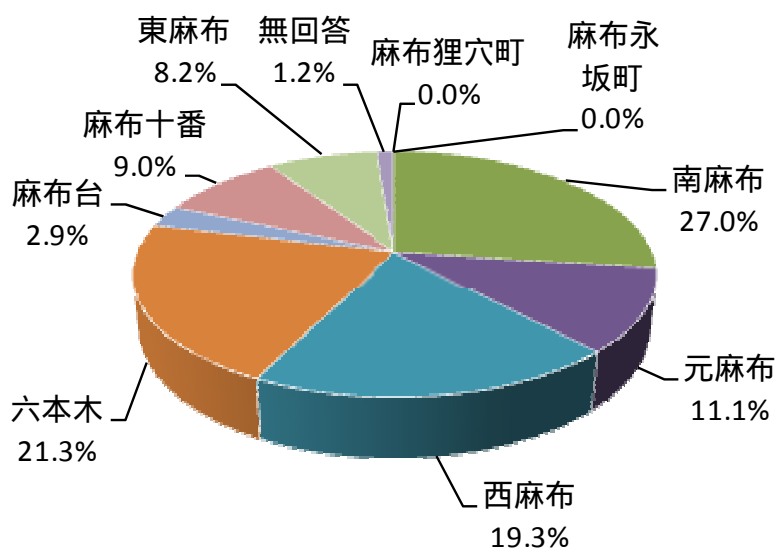


4.【問4】居住地

質問

現在お住まいの地域をお答えください。(一つに)

設問	件数	構成比%
麻布狸穴町	0	(0)
麻布永坂町	0	(0)
南麻布	66	(27.0)
元麻布	27	(11.1)
西麻布	47	(19.3)
六本木	52	(21.3)
麻布台	7	(2.9)
麻布十番	22	(9.0)
東麻布	20	(8.2)
無回答	3	(1.2)
合計	244	(100.0)

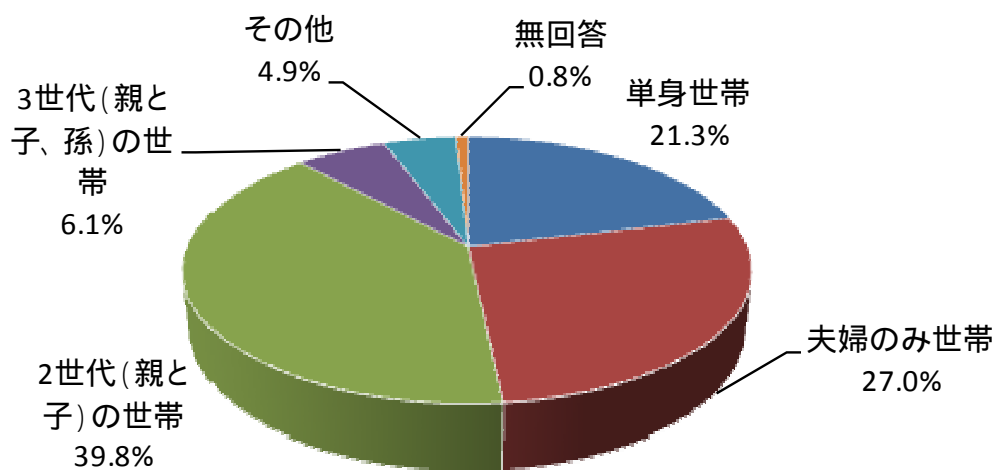


5 .【問 5】 家族構成

質問

家族構成についてお答えください。(一つに)

設問	設問	件数	構成比%
1	単身世帯	52	(21.3)
2	夫婦のみ世帯	66	(27.0)
3	2世代(親と子)の世帯	97	(39.8)
4	3世代(親と子、孫)の世帯	15	(6.1)
5	その他	12	(4.9)
	無回答	2	(0.8)
	合計	244	(100.0)

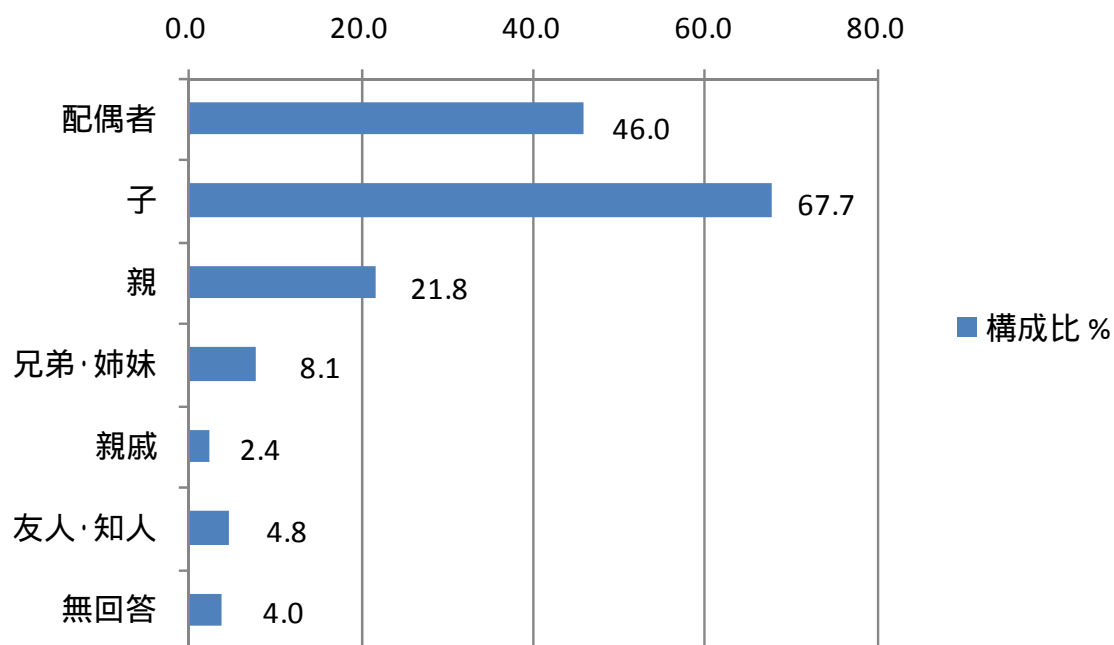


6.【問6】同居者（複数回答）

質問

問5で3～5とお答えいただいた方にお伺いします。一緒に住まわれている方は
 どのような方ですか。当てはまるもの全てに を付けてください。

設問	件数	構成比%
配偶者	57	(46.0)
子	84	(67.7)
親	27	(21.8)
兄弟・姉妹	10	(8.1)
親戚	3	(2.4)
友人・知人	6	(4.8)
無回答	5	(4.0)
合計	192	(154.8)
回答者数	124	

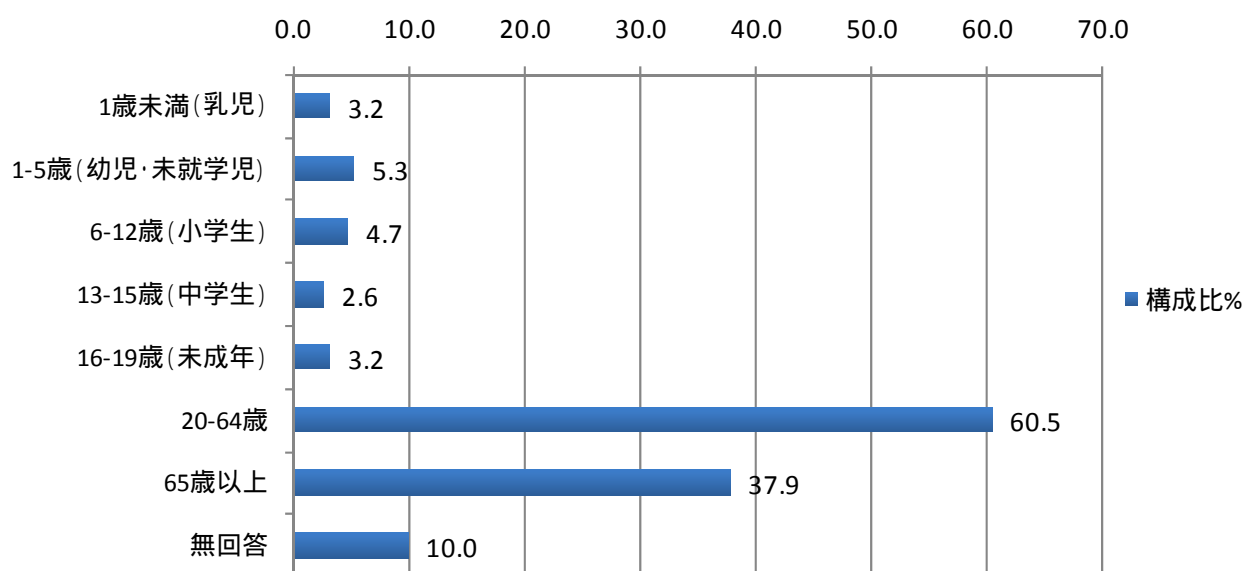


7.【問7】同居者の年齢（複数回答）

質問

問5で2～5とお答えいただいた方にお伺いします。一緒に住まわれている方の年齢は何歳ですか。当てはまるもの全てに を付けてください。

設問	件数	構成比%
1歳未満(乳児)	6	(3.2)
1-5歳(幼児・未就学児)	10	(5.3)
6-12歳(小学生)	9	(4.7)
13-15歳(中学生)	5	(2.6)
16-19歳(未成年)	6	(3.2)
20-64歳	115	(60.5)
65歳以上	72	(37.9)
無回答	19	(10.0)
合計	242	(127.4)
回答者数	190	

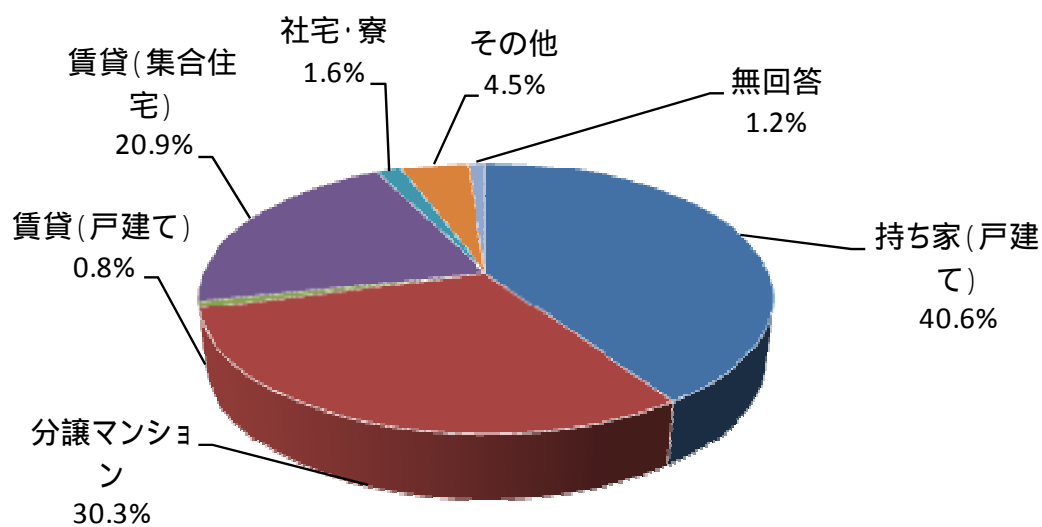


8 .【問 8】居住形態

質問

現在のお住まいについてお答えください。(一つに)

設問	件数	構成比%
持ち家(戸建て)	99	(40.6)
分譲マンション	74	(30.3)
賃貸(戸建て)	2	(0.8)
賃貸(集合住宅)	51	(20.9)
社宅・寮	4	(1.6)
その他	11	(4.5)
無回答	3	(1.2)
合計	244	(100.0)

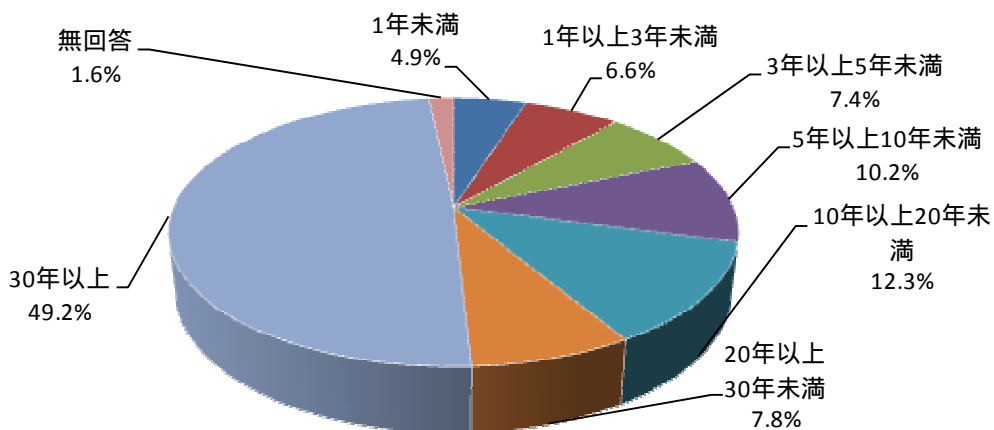


9 .【問9】居住年数

質問

現在の麻布地区への居住年数についてお答えください。(一つに)

設問	件数	構成比%
1年未満	12	(4.9)
1年以上3年未満	16	(6.6)
3年以上5年未満	18	(7.4)
5年以上10年未満	25	(10.2)
10年以上20年未満	30	(12.3)
20年以上30年未満	19	(7.8)
30年以上	120	(49.2)
無回答	4	(1.6)
合計	244	(100.0)

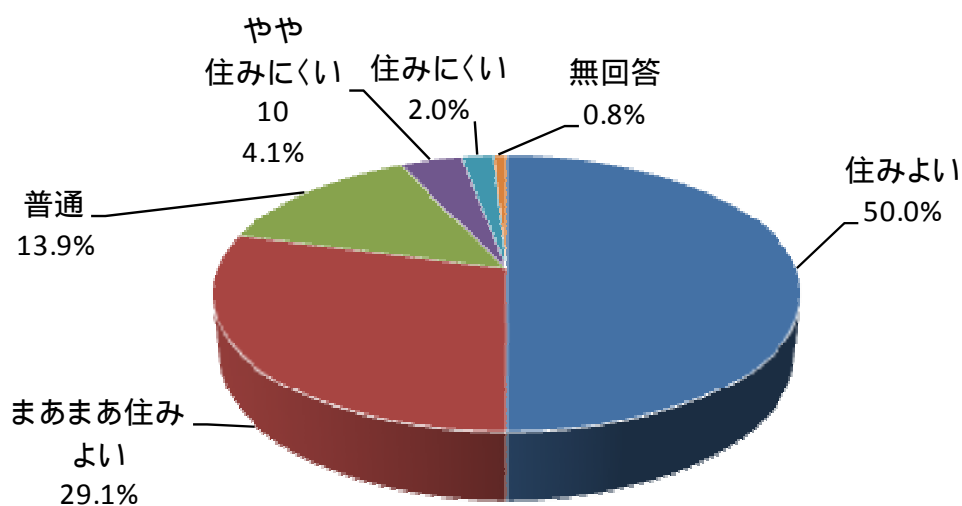


10.【問 10】住みよさ

質問

麻布地区の住みよさについてどのようにお考えですか。(一つに)

設問	件数	構成比%
住みよい	122	(50.0)
まあまあ住みよい	71	(29.1)
普通	34	(13.9)
やや住みにくい	10	(4.1)
住みにくい	5	(2.0)
無回答	2	(0.8)
合計	244	(100.0)



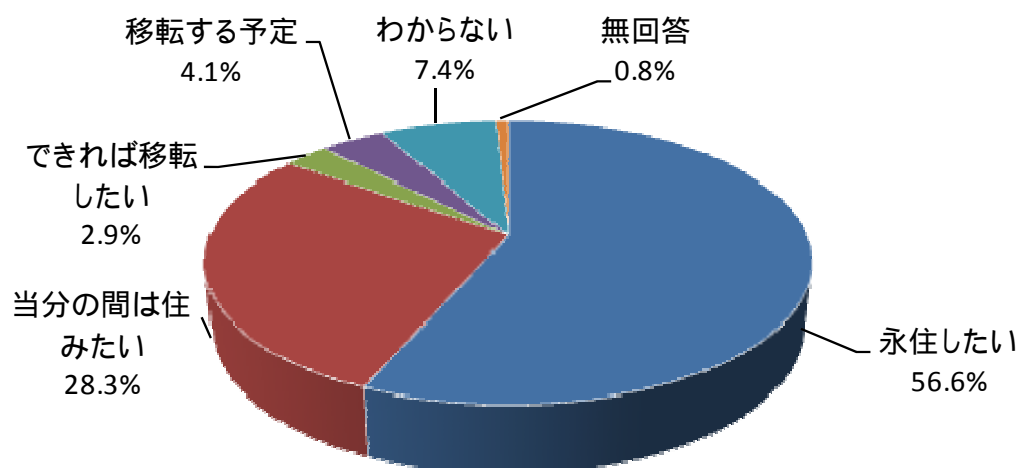
「住みよい」と感じる人は、122人、50.0%、「まあまあ住みよい」と感じる人は、71人、29.1%となっており、あわせて約8割が住みよさに関し、肯定的な回答を示している。

11.【問 11】定住意向

質問

今後の定住意向についてどのようにお考えですか。(一つに)

設問	件数	構成比%
永住したい	138	(56.6)
当分の間は住みたい	69	(28.3)
できれば移転したい	7	(2.9)
移転する予定	10	(4.1)
わからない	18	(7.4)
無回答	2	(0.8)
合計	244	(100.0)



「永住したい」と考えている人は、138人、56.6%、「当分の間は住みたい」と考えている人は、69人、28.3%となっている。

．調査回答者の意識「地区の事業について」

1.【問 12】地域事業（認知度、期待度、関心度）

質問

現在、麻布地区総合支所では、麻布地区版計画に基づき、独自に事業（地域事業）を実施しています。別紙「麻布地区総合支所が独自に取り組む地域事業」をご参照いただき、各事業について、お考えに近い項目を選んで を付けてください。また、事業への提案や個別のご意見等がありましたら「自由意見」欄にご記入ください。

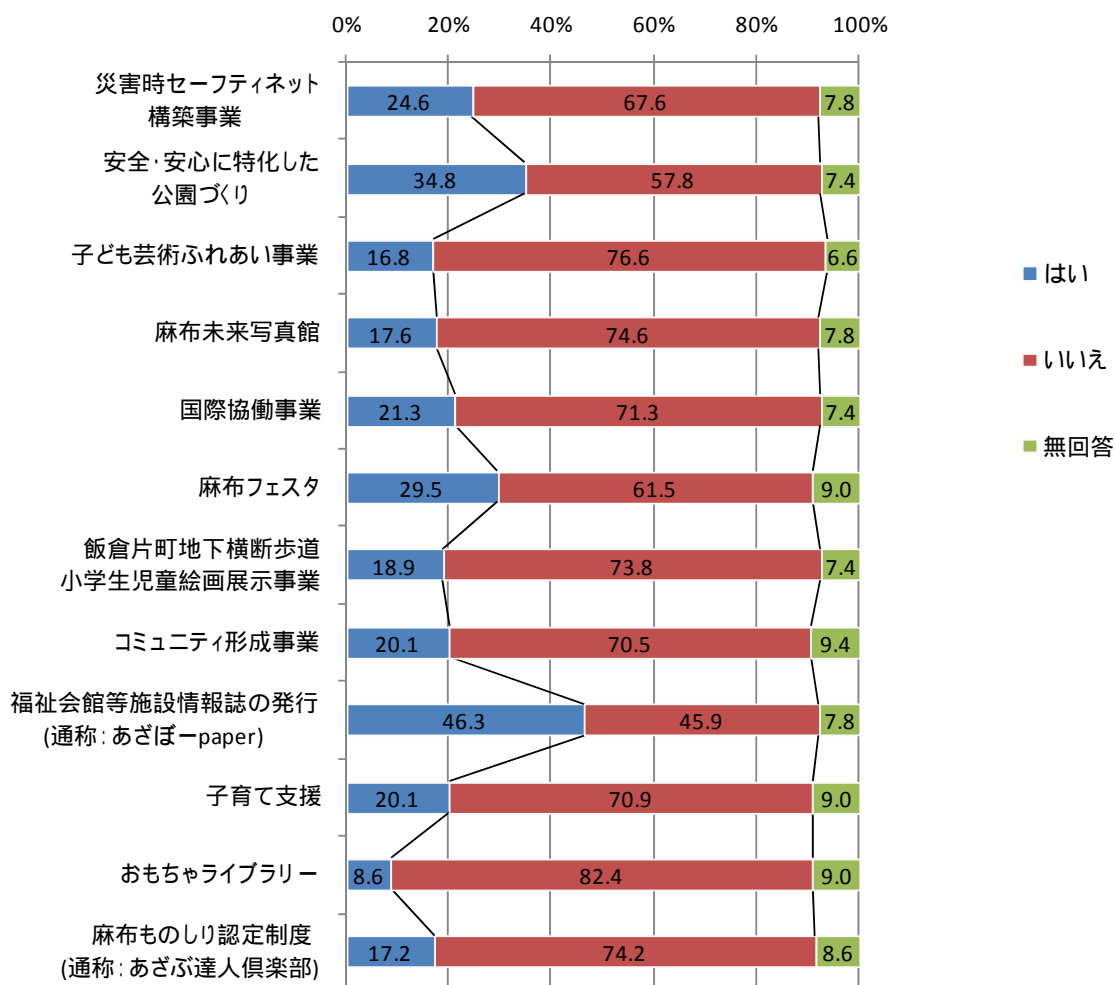
(1) 認知度

質問

事業をご存知でしたか

設問No. 設問	合 計	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
災害時セーフティネット構築事業	244 (100.0)	60 (24.6)	165 (67.6)	19 (7.8)
安全・安心に特化した公園づくり	244 (100.0)	85 (34.8)	141 (57.8)	18 (7.4)
子ども芸術ふれあい事業	244 (100.0)	41 (16.8)	187 (76.6)	16 (6.6)
麻布未来写真館	244 (100.0)	43 (17.6)	182 (74.6)	19 (7.8)
国際協働事業	244 (100.0)	52 (21.3)	174 (71.3)	18 (7.4)
麻布フェスタ	244 (100.0)	72 (29.5)	150 (61.5)	22 (9.0)
飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展示事業	244 (100.0)	46 (18.9)	180 (73.8)	18 (7.4)
コミュニティ形成事業	244 (100.0)	49 (20.1)	172 (70.5)	23 (9.4)
福祉会館等施設情報誌の発行 (通称：あざぼーpaper)	244 (100.0)	113 (46.3)	112 (45.9)	19 (7.8)
子育て支援	244 (100.0)	49 (20.1)	173 (70.9)	22 (9.0)
おもちゃライブラリー	244 (100.0)	21 (8.6)	201 (82.4)	22 (9.0)
麻布ものしり認定制度 (通称：あざぶ達人倶楽部)	244 (100.0)	42 (17.2)	181 (74.2)	21 (8.6)

注：()内はサンプル数を100とした割合



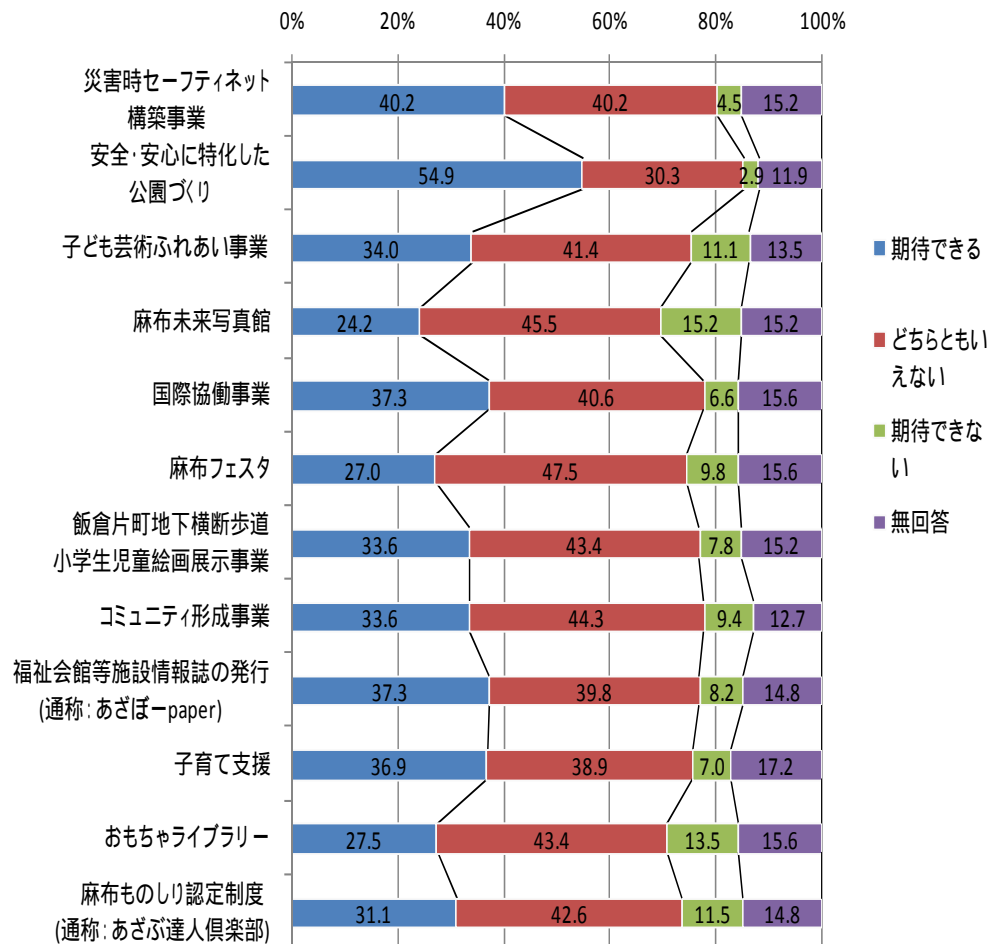
地域事業の認知度は、「福祉会館等施設情報誌の発行 (通称: あざぼーpaper)」が、113人、46.3%と最も高く、次いで、「安全・安心に特化した公園づくり」85人、34.8%、「麻布フェスタ」72人、29.5%となっている。

(2) 期待度

質問
期待度 (一つ)

設問No. 設問	合 計	1. 期待できる	2. どちらとも いえない	3. 期待できな い	4. 無回答
災害時セーフティネット構築事業	244 (100.0)	98 (40.2)	98 (40.2)	11 (4.5)	37 (15.2)
安全・安心に特化した公園づくり	244 (100.0)	134 (54.9)	74 (30.3)	7 (2.9)	29 (11.9)
子ども芸術ふれあい事業	244 (100.0)	83 (34.0)	101 (41.4)	27 (11.1)	33 (13.5)
麻布未来写真館	244 (100.0)	59 (24.2)	111 (45.5)	37 (15.2)	37 (15.2)
国際協働事業	244 (100.0)	91 (37.3)	99 (40.6)	16 (6.6)	38 (15.6)
麻布フェスタ	244 (100.0)	66 (27.0)	116 (47.5)	24 (9.8)	38 (15.6)
飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展 示事業	244 (100.0)	82 (33.6)	106 (43.4)	19 (7.8)	37 (15.2)
コミュニティ形成事業	244 (100.0)	82 (33.6)	108 (44.3)	23 (9.4)	31 (12.7)
福祉会館等施設情報誌の発行 (通称：あざぼーpaper)	244 (100.0)	91 (37.3)	97 (39.8)	20 (8.2)	36 (14.8)
子育て支援	244 (100.0)	90 (36.9)	95 (38.9)	17 (7.0)	42 (17.2)
おもちゃライブラリー	244 (100.0)	67 (27.5)	106 (43.4)	33 (13.5)	38 (15.6)
麻布ものしり認定制度 (通称：あざぶ達人倶楽部)	244 (100.0)	76 (31.1)	104 (42.6)	28 (11.5)	36 (14.8)

注:()内はサンプル数を100とした割合



地域事業の期待度は、「安全・安心に特化した公園づくり」が、134人、54.9%と最も高く、次いで、「災害時セーフティネット構築事業」、「福祉会館等施設情報誌の発行(通称: あざぼーpaper)」各々91人、37.3%となっている。

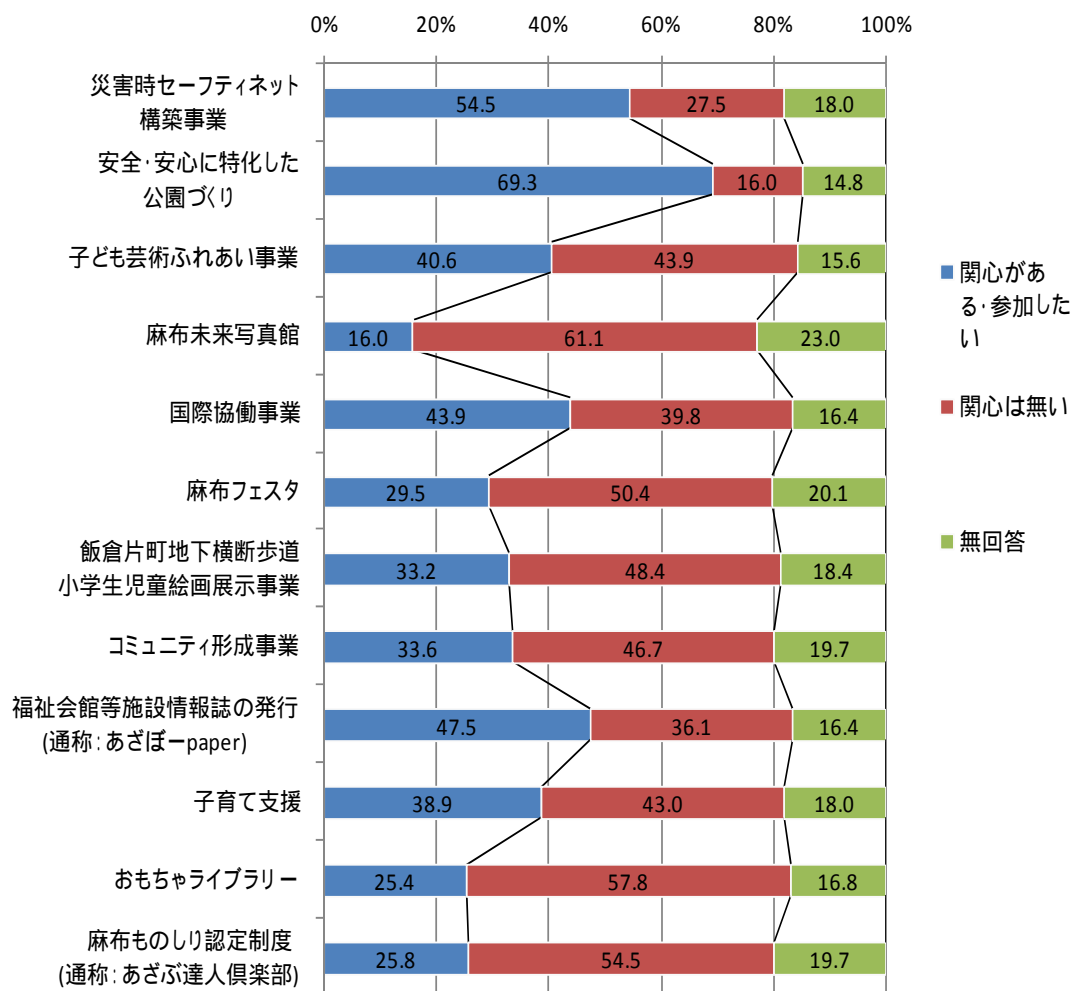
(3) 関心度

質問

参加したいと思う又は関心がありますか

設問No. 設問	合計	1. 関心がある・参加したい	2. 関心は無い	3. 無回答
災害時セーフティネット構築事業	244 (100.0)	133 (54.5)	67 (27.5)	44 (18.0)
安全・安心に特化した公園づくり	244 (100.0)	169 (69.3)	39 (16.0)	36 (14.8)
子ども芸術ふれあい事業	244 (100.0)	99 (40.6)	107 (43.9)	38 (15.6)
麻布未来写真館	244 (100.0)	39 (16.0)	149 (61.1)	56 (23.0)
国際協働事業	244 (100.0)	107 (43.9)	97 (39.8)	40 (16.4)
麻布フェスタ	244 (100.0)	72 (29.5)	123 (50.4)	49 (20.1)
飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展示事業	244 (100.0)	81 (33.2)	118 (48.4)	45 (18.4)
コミュニティ形成事業	244 (100.0)	82 (33.6)	114 (46.7)	48 (19.7)
福祉会館等施設情報誌の発行 (通称：あざぼーpaper)	244 (100.0)	116 (47.5)	88 (36.1)	40 (16.4)
子育て支援	244 (100.0)	95 (38.9)	105 (43.0)	44 (18.0)
おもちゃライブラリー	244 (100.0)	62 (25.4)	141 (57.8)	41 (16.8)
麻布ものしり認定制度 (通称：あざぶ達人倶楽部)	244 (100.0)	63 (25.8)	133 (54.5)	48 (19.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合



地域事業の関心度は、「安全・安心に特化した公園づくり」が169人、69.3%と最も高く、次いで、「災害時セーフティネット構築事業」133人、54.5%、「福祉会館等施設情報誌の発行（通称：あざぼーpaper）」116人、47.5%となっている。

2.【問 12】地域事業への自由意見（主なもの）

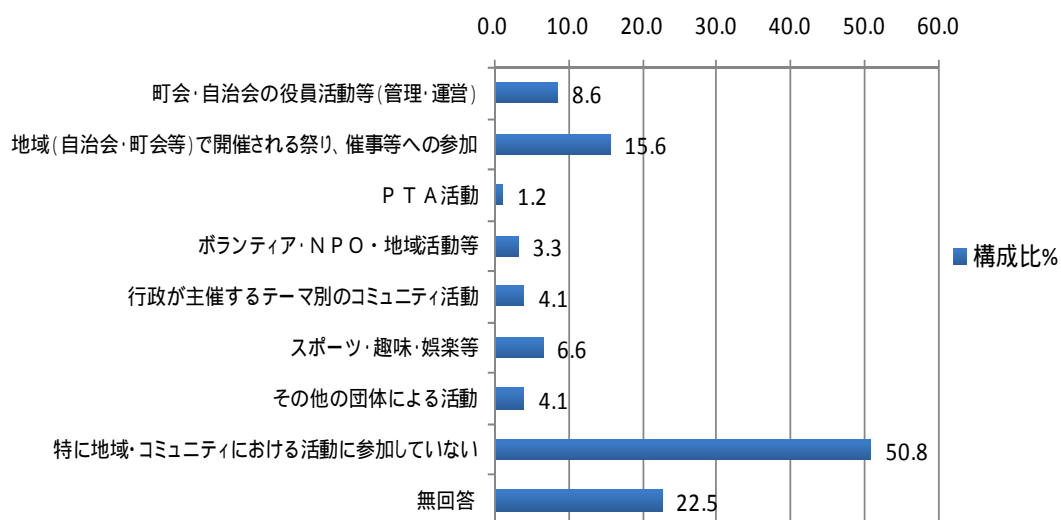
事業名	自由意見
災害時セーフティネット構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように行動するのかガイドラインや練習機会が必要だ。 ・災害時に頼りになるのは近所の助けだと思う。 ・一人暮らし、高齢者等の住民をまず一番に考慮すべき。
安全・安心に特化した公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は楽しく過ごせるよう防犯に力を入れていただきたい。 ・麻布地区の公園は喫煙場所・ホームレスの居場所だ。 ・子どもがのびのび遊べるよう、遊具など目に見える整備を。
子ども芸術ふれあい事業	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台に立ってオペレッタを体験したい人は自分のお金で。 ・芸術に接するため、見学以外に、割引制度なども。 ・公立校のみの対象では関心がない。
麻布未来写真館	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の整理・管理をしっかりと行い、必要時に示せるように。 ・記録は必要だが、資料コーナーは周知・再検討が必要だ。 ・展示は見たことあったが、事業としては知らなかった。
国際協働事業	<ul style="list-style-type: none"> ・西麻布～六本木、昼夜問わず外国人が増えており、重要だ。 ・六本木のコワイ夜をどうする？ ・住民が外国人や大使館とコンタクトを取る窓口等が必要だ。
麻布フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し形を変えたらどうか？ ・地域に役立つ事業になればいいと思う。 ・住民がテーマに沿って意見を交わすイベントの実施を。
飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展示事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの作品だけでなく、希望者全ての作品を展示しては。 ・通学路の安全確保なら防犯カメラや人の配置をしてみても。 ・この場所は本当に危険を感じる。人為的対策のほうが良い。
コミュニティ形成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティ活動はお年寄りの病気予防にも役立つ。 ・経済的に自立しても孤独な高齢者は多いので、参加意欲が出るようなコミュニティを築けると良い。
福祉会館等施設情報誌の発行（通称：あざポーパー）	<ul style="list-style-type: none"> ・経費がかかっているなので、より効率的に実施してほしい。 ・20～40代の方々が興味を持たないような企画で、残念だ。 ・情報紙見たことない。配布をもっと木目細かにする必要あり。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りと子どもがふれあう場を作り、案内する必要あり。 ・子育てする母親が気晴らしできる機会を提供するとよい。 ・相談窓口や子育て世代の生の声を反映させた企画を。
おもちゃライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが上手くとれない大人に良きアドバイスを。 ・子どもの興味をもっと良く調べるべき。 ・他区でも実施しているようだが、良い取り組みだ。
麻布ものしり認定制度（通称：あざぶ達人倶楽部）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費が高く、内容的にボランティアで対応しても良い。 ・目的は理解できるが、行政が行うべきなのか疑問である。 ・歴史や文化を知る事は、外国人交流を深める上でも大切だ。

類似している意見については、まとめてあります。

3.【問 13】参加している地域活動（複数回答）

質問
 地域・コミュニティにおける活動のうち、参加している活動について、当てはまるもの全てに を付けてください。

設問	件数	構成比%
町会・自治会の役員活動等（管理・運営）	21	(8.6)
地域（自治会・町会等）で開催される祭り、催事等への参加	38	(15.6)
P T A活動	3	(1.2)
ボランティア・N P O・地域活動等	8	(3.3)
行政が主催するテーマ別のコミュニティ活動	10	(4.1)
スポーツ・趣味・娯楽等	16	(6.6)
その他の団体による活動	10	(4.1)
特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない	124	(50.8)
無回答	55	(22.5)
合 計	285	(116.8)
回答者数	244	



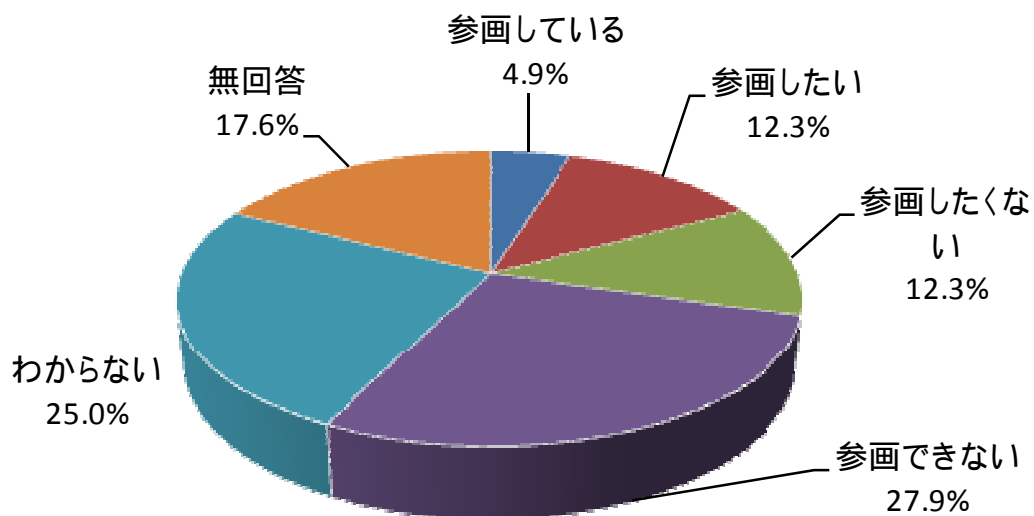
参加したことがある活動で最も多いのは、「地域（自治会・町会等）で開催される祭り、催事等への参加」38人、15.6%で、次いで、「町会・自治会の役員活動等（管理・運営）」21人、8.6%、「スポーツ・趣味・娯楽等」16人、6.6%となっている。一方、「特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」人が124人、50.8%となっている。

4.【問 14】地域事業への参画意向

質問

麻布地区の地域事業に関する計画づくりや実施について参画のご意向はお持ちですか。(一つに)

設問	件数	構成比%
参画している	12	(4.9)
参画したい	30	(12.3)
参画したくない	30	(12.3)
参画できない	68	(27.9)
わからない	61	(25.0)
無回答	43	(17.6)
合 計	244	(100.0)



地域事業への参画意向は、「参画できない」が、68人、27.9%と最も高く、次いで、「わからない」61人、25.0%、「参画したい」、「参画したくない」が各々30人、12.3%となっている。「参画している」人は、12人、4.9%と最も低い割合となっている。

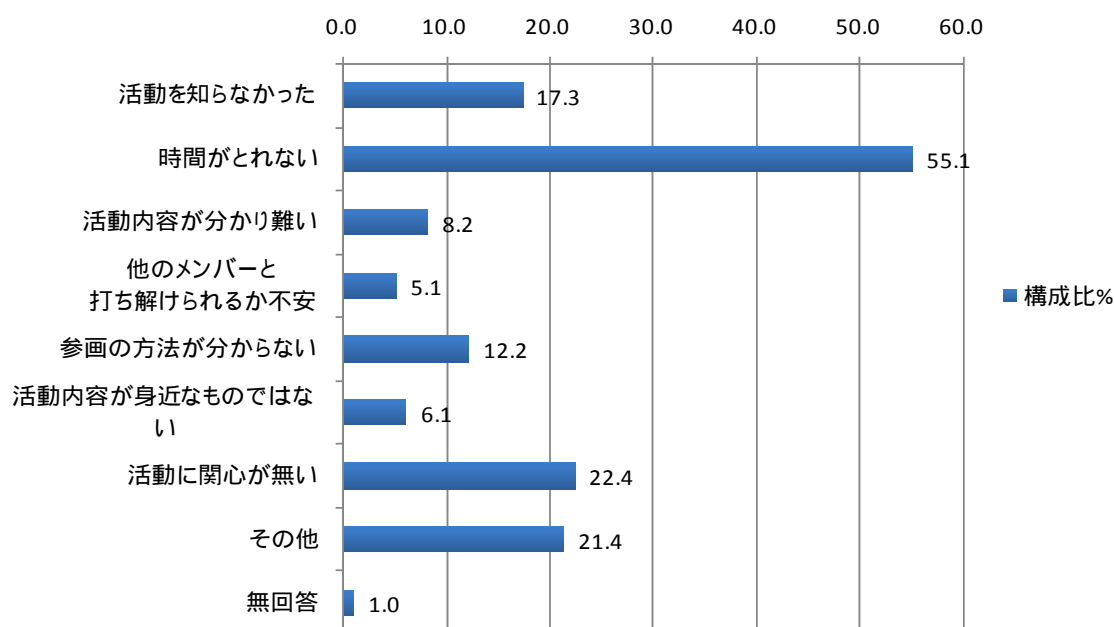
5.【問 15】地域活動等へ参画しない理由（複数回答）

質問

問 14 で、「参画したくない」「参画できない」とお答えになった方にお聞きします。その理由はどのようなものですか。当てはまるもの全てに を付けてください。

ご記入後は問 16 へお進みください。

設問	件数	構成比%
活動を知らなかった	17	(17.3)
時間がとれない	54	(55.1)
活動内容が分かり難い	8	(8.2)
他のメンバーと打ち解けられるか不安	5	(5.1)
参画の方法が分からない	12	(12.2)
活動内容が身近なものではない	6	(6.1)
活動に関心が無い	22	(22.4)
その他	21	(21.4)
無回答	1	(1.0)
合 計	146	(149.0)
回答者数	98	



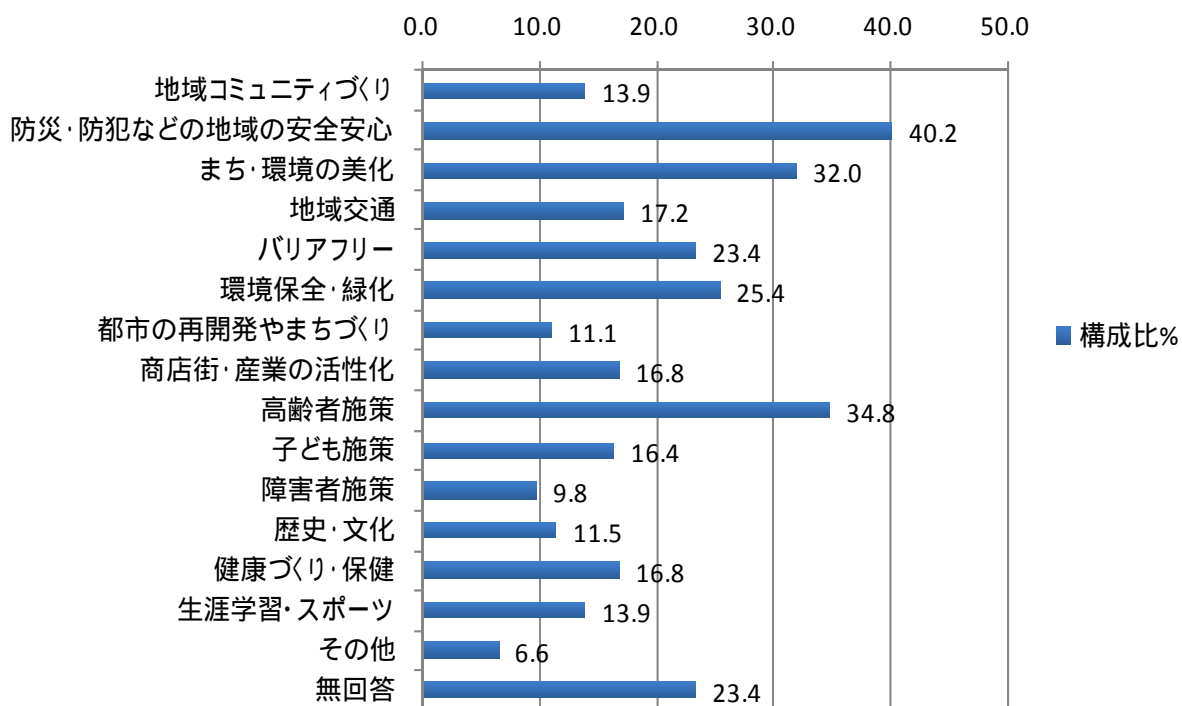
「時間がとれない」人が 54 人、55.1%と最も多く次いで、「活動を知らなかった」人が 17 人、17.3%となっている。「活動に関心が無い」人が 22 人、22.4%、となっている。

6 .【問 16】地域の課題（複数回答）

質問

お住まいの地域にとって課題とお考えになっていること、またお困りになっていること、または必要性が高いとお考えの取組みは何ですか。下の表の上段で当てはまるテーマ全てに を付け、下段に具体的なご意見をご記入ください。

設問	件数	構成比%
地域コミュニティづくり	34	(13.9)
防災・防犯などの地域の安全安心	98	(40.2)
まち・環境の美化	78	(32.0)
地域交通	42	(17.2)
バリアフリー	57	(23.4)
環境保全・緑化	62	(25.4)
都市の再開発やまちづくり	27	(11.1)
商店街・産業の活性化	41	(16.8)
高齢者施策	85	(34.8)
子ども施策	40	(16.4)
障害者施策	24	(9.8)
歴史・文化	28	(11.5)
健康づくり・保健	41	(16.8)
生涯学習・スポーツ	34	(13.9)
その他	16	(6.6)
無回答	57	(23.4)
合 計	764	(313.1)
回答者数	244	



地域の課題への関心は、「防災・防犯などの地域の安全安心」98人、40.2%と最も高く、次いで、「高齢者施策」85人、34.8%、「まち・環境の美化」が78人、32.0%、「環境保全・緑化」が62人、25.4%、と続いている。

7.【問 16】地域の課題への具体的な意見（主なもの）

テーマ	具体的意見
1. 地域コミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション居住者同士のコミュニケーションが必要だ。 ・外国人住人と交流を深め、共に地域づくりを行う必要あり。 ・地域の人々の参加を通じて、お互いが知り合う必要がある。
2. 防災・防犯などの地域の安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールを強化し、安全で暮らしやすい地域に。 ・街灯を多く明るく、場所によっては防犯カメラも必要だ。 ・住民が災害時にとる行動を教えてもらえる機会が欲しい。
3. まち・環境の美化	<ul style="list-style-type: none"> ・電柱を地中化して欲しい。 ・歩きタバコ、受動喫煙等の対策をして欲しい。 ・ごみ問題の対策をして欲しい。
4. 地域交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ちいばすは便利で良いが、路線の検討は必要だ。 ・狭い道路に車が行き交い、スピード違反も多い。 ・歩道が狭く危険な道路が多い、歩行者優先で整備すべき。
5. バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の移動が段差や歩道の狭さのため難しい事がある。 ・階段で渡る道路はエレベーターを設置して欲しい。 ・歩道橋にスロープを設置して欲しい。
6. 環境保全・緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・開発が進んでも花や植物は極力残して欲しい。 ・緑化の促進を期待している。 ・緑を残すとともに、行き届いた管理も必要だ。
7. 都市の再開発やまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地での再開発や高層マンションの建設が多い。 ・古いまちを壊しすぎない、人に優しいまちづくりを。 ・町並み全体の美観の統一を考えるべき。
8. 商店街・産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地元商店街の活性化を推進して欲しい。 ・個人商店が根付くまち、あたたかいまちを。 ・スーパーマーケットが少なく、買い物に不便だ。
9. 高齢者施策	<ul style="list-style-type: none"> ・一人住まい、高齢者のみの世帯への施策の充実を。 ・高齢者の力を掘り起こし、利用する取り組みを考えて。 ・老人福祉施設をもっと増やして欲しい。
10. 子ども施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者が交流できる機会を作って欲しい。 ・保育園、幼稚園数の充実をお願いしたい。 ・子どもが遊べる場所を増やして欲しい。
11. 障害者施策	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者がハンディではないと思えるまちづくりが必要だ。 ・障害者が安心して使用できる施設・道路の充実を。 ・障害者も平等に生活できる環境を希望する。
12. 歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化をもっと知りたい。 ・住民が文化・歴史等の理解を深めていく活動が増えるとよい。 ・古くから交流がある外国の方達にも働きかけが必要だ。
13. 健康づくり・保健	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内にスポーツ施設を作って欲しい。 ・健康に関する運動の進め方等、出張してもらえるとよい。 ・成人検診は有難いが、時間の考慮も必要だ。
14. 生涯学習・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設を充実させて欲しい。 ・子ども・高齢者の視点での施策の検討を。 ・講習会やスポーツ教室等を増やして欲しい。
15. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・街路等に椅子、ベンチの提供をして欲しい。 ・単身高齢者の施策の充実を。 ・歩道・自転車道の区別、自転車のマナー対策を。

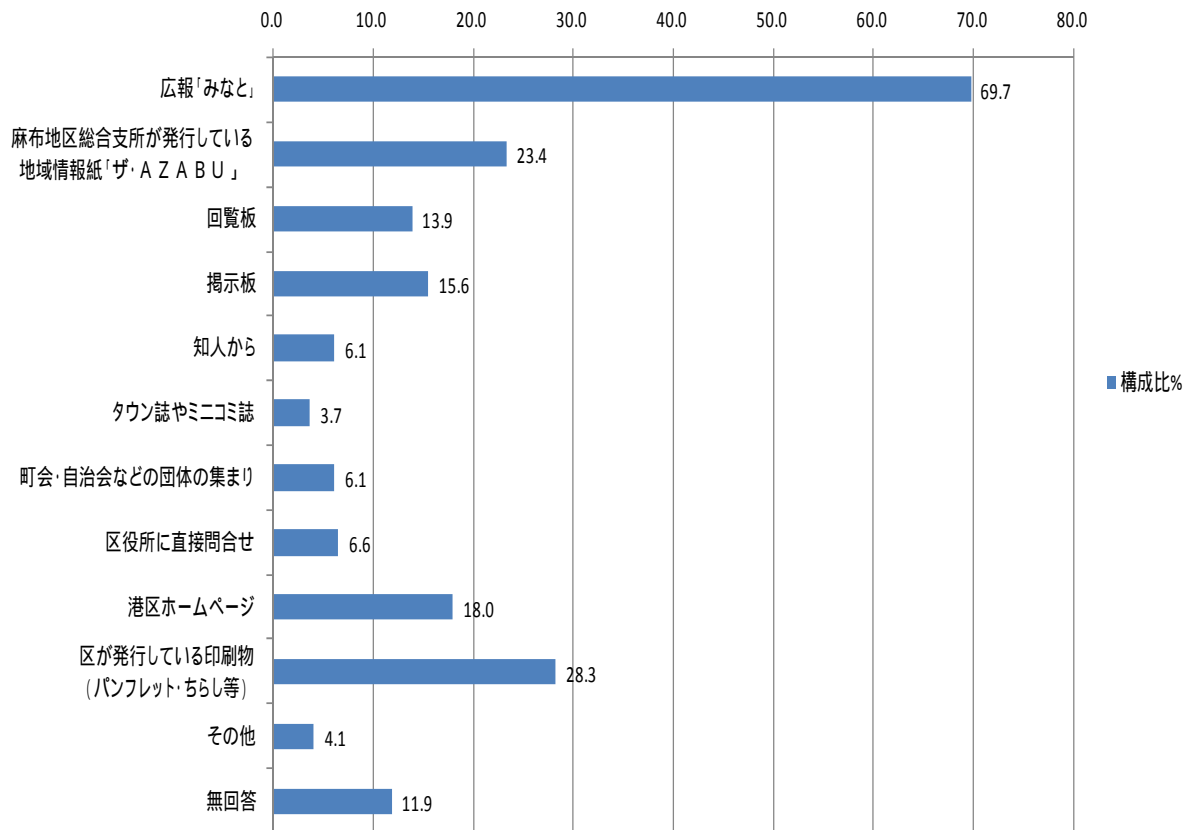
類似している意見については、まとめてあります。

8 .【問 17】情報の入手方法（複数回答）

質問

あなたは、区政や区の手続き等に関し、区や麻布地区総合支所が発信している情報をどのように入手していますか。主なもの3つまで を付けてください。

設問	件数	構成比%
広報「みなと」	170	(69.7)
麻布地区総合支所が発行している 地域情報紙「ザ・AZABU」	57	(23.4)
回覧板	34	(13.9)
掲示板	38	(15.6)
知人から	15	(6.1)
タウン誌やミニコミ誌	9	(3.7)
町会・自治会などの団体の集まり	15	(6.1)
区役所に直接問合せ	16	(6.6)
港区ホームページ	44	(18.0)
区が発行している印刷物 (パンフレット・ちらし等)	69	(28.3)
その他	10	(4.1)
無回答	29	(11.9)
合 計	506	(207.4)
回答者数	244	



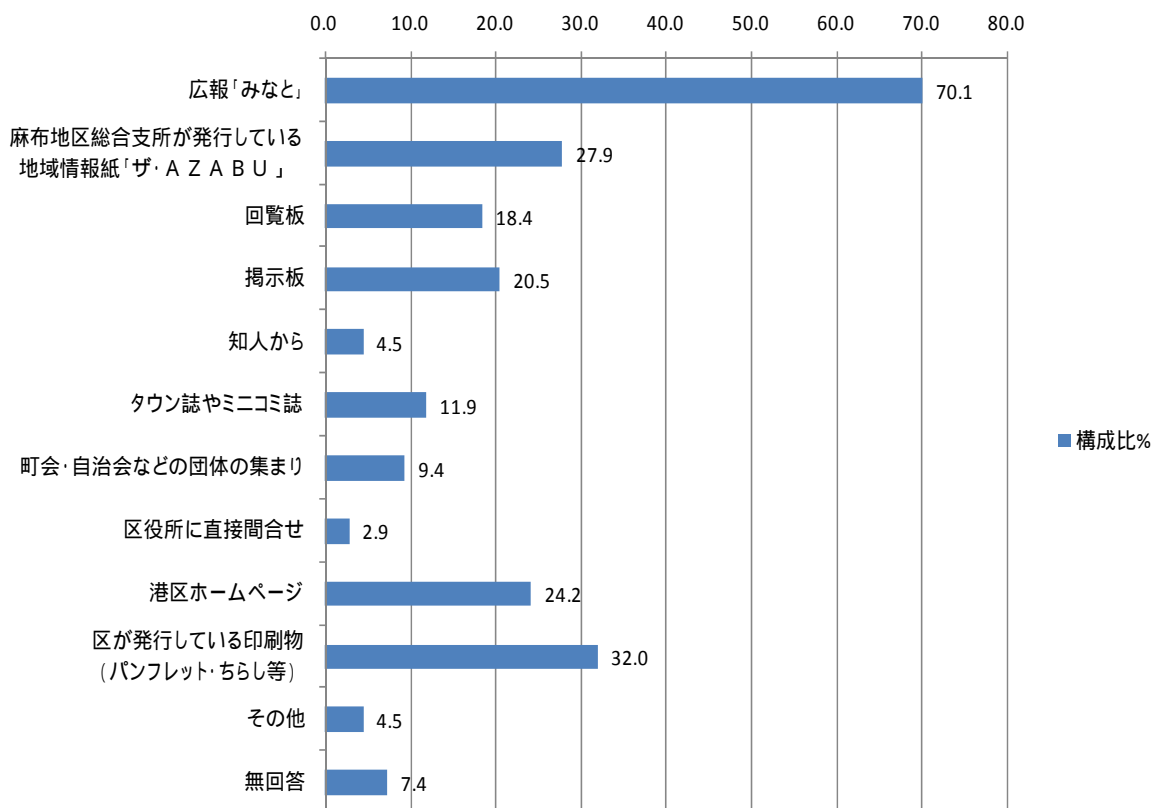
情報の入手方法は、「広報「みなと」」が 170 人、69.7%と最も高く、次いで、「区が発行している印刷物（パンフレット・ちらし等）」69 人、28.3%、「麻布地区総合支所が発行している地域情報誌「ザ・AZABU」」57 人、23.4%、となっている。

9.【問 18】住民参加の呼びかけ方法（複数回答）

質問

区や麻布地区総合支所からの住民参加の呼びかけとして、どのような方法が適切であるとお考えですか。効果が高いと思うもの3つまで を付けてください。

設問	件数	構成比%
広報「みなと」	171	(70.1)
麻布地区総合支所が発行している 地域情報紙「ザ・AZABU」	68	(27.9)
回覧板	45	(18.4)
掲示板	50	(20.5)
知人から	11	(4.5)
タウン誌やミニコミ誌	29	(11.9)
町会・自治会などの団体の集まり	23	(9.4)
区役所に直接問合せ	7	(2.9)
港区ホームページ	59	(24.2)
区が発行している印刷物 (パンフレット・ちらし等)	78	(32.0)
その他	11	(4.5)
無回答	18	(7.4)
合 計	570	(233.6)
回答者数	244	



住民参加への呼びかけ方法として効果が高いと思うものについては、「広報「みなと」」が171人、70.1%と最も高く、次いで、「区が発行している印刷物（パンフレット・ちらし等）」78人、32.0%、「麻布地区総合支所が発行している地域情報紙「ザ・AZABU」」68人、27.9%、となっている。

刊行物発行番号 22211-1435

平成22年度

港区基本計画・麻布地区版計画に関する
区民意識調査報告書

平成23年（2011年）2月発行

発行 港区麻布地区総合支所協働推進課
港区六本木五丁目16番45号
電話 03（3583）4151 代表